



- 国際会長主題:輝かそう、あなたの光を Ulrik Lauridsen (デンマーク)
- アジア太平洋地域会長主題:新しい時代とともに、エレガントに変化を Chen Ming Che (台湾)
- 東日本区理事主題:未来に向けて今すぐ行動しよう 佐藤 重良 (甲府 21)
- あずさ部長主題:ワイズへの参加と交流を楽しもう 後藤 明久 (富士五湖)
- 甲府やまなみクラブ会長主題:準備を整えよう! 藤原 一正

甲府やまなみ
ワイズメンズクラブ
2023年 2月
No.5

●今月の強調目標

TOF・FF・HTW

●今月のことば

「あせるな、おこるな、いばるな、くさるな、おこたるな」

人生五訓(京都嵯峨小倉山二尊院掲示額より)

松本 公夫 君選

今月の例会案内(第5回)

TOF(Time of Fast) 例会

- 日時: 2023年2月1日(水) 18:30~20:30
- 会場: 山梨YMCA
- 司会: 仙洞田安宏 君
- ・開会点鐘 藤原 一正 会長
- ・ゲスト・ビジター紹介 司会者
- ・ワイズソング 一同
- ・会長挨拶 藤原 一正 会長
- ・今月のことば 松本 公夫 君
- ・おにぎりタイム
- ・山梨YMCAの働きと館内ツアー
山梨YMCA 福田奈里子さん
- ・諸報告(前期会計報告・その他)
- ・ハッピーバースデー&アニバーサリー
- ・YMCAの歌 一同
- ・閉会点鐘 藤原 一正 会長

Photo of monthly



1月10日、新年4クラブ合同例会にて、新会員紹介のコーナーで挨拶する、やまなみクラブメンバー

1月のデータ

会員数:11名 例会出席:6名
例会出席率 55%
甲府:16名・甲府21:19名・富士五湖:7名
ビジター:1名・ゲスト:5名
ニコニコ:36,366円→山梨YMCAを通じてウクライナ支援へ

ハッピーバースデー

メン 遠藤 成人 (2/6)
メネット 米山 千恵 (2/10)

今月のことば

「あせるな、おこるな、いばるな、くさるな、おこたるな」

三十数年前、新婚旅行で訪れた京都嵯峨小倉山二尊院に掲げてあった忘れられない五訓。

半世紀前、JICA海外協力隊でケニアの砂漠等で6年間活動して帰国、一般常識や日本語も忘れ、その上社会に馴染めず落ち込んだ気持ちや生活も続き、アフリカに戻りたいな一と考えていた頃、『日本社会で生活していくためには貴方には必要ですね』と、今は亡き妻からの勧めのお宝の五訓です。

常に繰り返し読み、何とか回復してきた好きな言葉であります。(松本公夫)

●●● 新年合同例会報告 ●●●

米山 俊彦

1月10日火曜日、初めての県内4クラブ(甲府、甲府21、富士五湖、甲府やまなみ)の合同新年例会がホテル談露館において開催され、50人以上が出席する盛大な新年例会となりました。

当クラブからは、藤原会長、松本さん、仙洞田さん、三井さん、福田さん、米山の6名が参加をしました。

第1部のセレモニーでは、甲府クラブ・田中克男会長の開会点鐘の後、ワイズソング、ワイズの信条の斉唱へと続き、田中会長からご挨拶がありました。

今年の干支である「卯」に因んでイソップ寓話の「うさぎと亀」の競争について、これまでとは少し違った視点から興味深いお話がありました。

この物語は、一般的には過信して思い上がり油断することを戒めるとともに、遅くとも着実にまっすぐ進むことの大切さを教えた寓話として伝えられていますが、田中会長からは、この中で、うさぎは、競争相手の亀ばかりを気にしていたために、本当のゴールを見失い、勝負に負けてしまった。人は時として、物事を進める際に戦略を重視するあまり、本来の目的を見失ってしまう事があるという趣旨のお話がありました。「卯」年の年頭にあたり、今年をうさぎに因んで「飛躍する年にしたい」という願いは、多くの皆さんが持たれる事と思いますが、私は、そうした願いとともに、この「うさぎと亀」の物語から得られる教訓を改めて胸に刻みたいと思いました。

そして、「今月のことば」の後、東日本区・佐藤重良理事、あずさ部・後藤明久部長からそれぞれご挨拶があり、お二人ともに、ワイズメンズクラブの活動として、様々な事業やイベントに参加をして、多くの人達

と交流を図ることで、親睦を深めていく事が大切であり、その中で会員の増強を図っていききたいというお話をされていました。

今年は、これまで様々な行動規制や自粛が求められてきました新型コロナウイルス感染症の対策も制限が緩和され、ワイズコロナの社会へと変わっていく年になるでしょう。そうした中で、やまなみクラブの活動も本格的になって、1年を通して参加と交流による親睦を深めていける年にしたいと思います。

卓話では、山梨大学生・下田万葉さんによる「IYC(国際青年会議)への参加報告」がありました。

20歳代前半からYMCAやワイズメンズクラブの活動を知った事は、これからの人生を豊かなものしていくために良い経験になるのではないかと思います。タイ王国で行われた国際会議に参加した事で、新たな繋がりが生まれ、その国際的な繋がりをさらに広めるとともに、世代を超えて関わり続けられる活動を進めていきたいという夢と希望のある活動報告に感心しました。

第2部の懇親祝会では、開会の辞と食前感謝に続き、当クラブの藤原会長による乾杯の発声で、ワイズディナーが始まりました。新入会員紹介では、甲府やまなみクラブは移籍の仙洞田さんを除く全員が新入会員という事で、突然の自己紹介となり、その後は他のクラブのメンバーとの懇親を深めるとともに、ヴァイオリンとピアノの演奏を堪能できた楽しい祝会でした。出席:やまなみ・6名/甲府・16名/甲府21・19名/富士五湖・7名/ピジター:1名(松本・大和田浩二)/ゲスト:5名(下田万葉、飯田華代子(ヴァイオリン)、奥水敦子(ピアノ)、大澤祥子、尾崎浩)計54名(敬称略)



50人以上出席した合同例会



乾杯の発声をする藤原会長



飯田華代子さんの
ヴァイオリン演奏

第12回お正月を遊ぼう

仙洞田安宏

1月8日(日)、甲府駅北口のよっちゃばれ広場において、12回目となる「お正月を遊ぼう」が開催されました。

このイベントは「NPO法人甲府駅北口まちづくり委員会」(以下まちづくり委員会)が、藤村記念館や歴史公園、よっちゃばれ広場等、甲府駅北口周辺施設の指定管理者になっていることから、自主事業として開催しているもので、子供たちに伝統的な正月遊びを体験してもらおうというものです。

私は、甲府クラブが創立60周年(2010年)の際、記念事業として藤村記念館の周囲にバラの植栽をしたことや、個人としても近代建築写真展に協力していることから、まちづくり委員会との接点ができ、第1回目から協力してきました。その後、甲府クラブとして共催するようになり今日に至っています。

今回は甲府21クラブも参加され、甲府のワイズ3クラブが協力しました。当クラブからは、主催者のまちづくり委員会職員でもある米山さんは勿論のこと、松本さんと私が参加しました。藤原会長は子供さんを連れて来場し、

楽しんで行ったようです。

当日は風もない晴天に恵まれました。オープニングの甲府ばやし保存会による獅子舞の演舞が正月気分を演出してくれました。人出も2,000人近くあったようで、「けん玉」と「メンコ」を担当した我々も息つく間もないほど、次から次

へと来る子供たちに対応しました。若い親御さんの中には、「メンコ」の遊びかたを知らない人も多く、子供の頃を思い出しながら実演したりしました。おかげで翌日右肩が筋肉痛となりました。



また特筆すべきは、国際交流活動に熱心な松本さんの広報で、外国人の姿も多く見られ、日本の伝統的な遊びを体験する良い機会となったようです。

1月役員会報告

1月10日の新年合同例会の後、談露館のラウンジで開催。出席者は例会に出席した全員。

▼2月例会の件

- ・TOF例会ということで、会場は山梨YMCAとし、食事は無しが望ましいが、おにぎり程度とする。
- ・会費500円で余剰金はニコニコとする。
- ・会則に基づき、前期会計報告をする。
- ・後期会費(メンバー15,000円/担当主事:2,000円)を徴収する。

▼次年度役員選考の件

- ・今年度途中のチャーターでまだ不慣れなので、今年度と同じ役員構成とすることを承認

▼東西日本区交流会申込みの件

- ・参加予定者:藤原・仙洞田・福田(YMCAスタッフとして)、仙洞田が一括して申し込む。

▼松本クラブ土佐文旦購入の件

- ・クラブで1箱注文し4人で分けることになった。

▼第2回あずさ部評議会の件

- ・仙洞田が評議会の説明を行い、参加を呼びかけた。

(報告:仙洞田安宏)

評議会ってなに？

2月11日は、やまなみクラブにとって初めての評議会です。評議会は「部」の議決機関です。「部」の規則、予算、人事等を審議・議決する場で、現在あずさ部では年3回(7月・2月・5月)、開かれています。構成員は、部の役員(部長・書記・会計・4事業の推進役である主査など)と各クラブの会長・副会長・書記・会計です。

あずさ部の評議会は他の部ではみられない特徴があります。一つは、評議会のホストを順番にクラブが担当しています。従って、山梨(甲府や富士吉田)のほか東京、長野でも開催されます。

そして、名称に冠(ニックネーム)を付けていることです。2月11日に開催される評議会は甲府クラブがホストし「厄除け評議会」と銘打たれました。2月13日・14日の塩澤寺の「厄除け地藏尊」に因んでの命名で

す。昨年7月の「うぶごえが聞こえる評議会」は東京西クラブのホストで、当クラブの誕生をあずさ部全体で祝ってくれました。過去には「七里が岩評議会(会場が韮崎市民交流センター)」、「歌舞伎町ともしび評議会(懇親会で歌声喫茶を再現)」などがありました。このようにネーミングがあると、過去を振り返った時、評議会のシチュエーションを思い出す手掛かりになります。この冠を付ける発案者は、あずさ部がスタートした時の部書記だった当クラブの渡邊隆さんです。

さらに、議決権がある会員だけでなく、一般の会員にも広く参加を呼びかけていることです。これにより、交流と親睦が促進され、部全体の活性化に繋がっています。いずれやまなみクラブも評議会のホストする時がくると思いますが、その時は工夫を凝らした実りあるものになりたいものです。(仙洞田安宏)



山梨 YMCA 総主事
中田 純子

「山梨YMCA FOR ALL」とは

2022年度も残り2ヶ月となりました。総主事として歩みを進めてきたこの1年、前総主事から引き継いだ、「山梨YMCA FOR ALL」の実現に向けもう一度考えたいと思います。

これまで「地域共生社会」「FOR ALL」「ケアコミュニティ」これらのキーワードをコンセプトに事業展開してきました。高齢者支援、乳幼児保育、児童発達支援、学童保育、外国籍市民支援等、地域と共に生きることを目的に進めてきた事業です。

YMCAでは、この事業が互いに存在しながらも、共存共生していける空間を提供することに意味があり、人の生涯に寄り添う為の事業展開をすることが重要となります。

人の生涯とは「0歳から」ではなく「お母さんのおなかの中から」、「男女の出会いから始まる」と考えると、途切れのない人の生涯に寄り添う事になります。

また、寄り添いとはひとりひとりがお互いに自分事として人に接し、自分が誰かに助けられていると感謝し喜び、人に優しくなれる事だと信じます。この当たり前の事があふれている日常こそが山梨YMCAの目指す寄り添いです。

さらに、この寄り添いが誰もが自然にでき「隣人愛」に包まれた地域共生社会の実現を地域に発信していくことが、山梨YMCAの「FOR ALL」であると再確認され、2023年度への準備を進めていこうと胸を膨らませます。

訃報

甲府21クラブのお二人が天に召されるといふ悲しいニュースがありました。謹んでおくやみ申し上げます。

相川貴宏様 1月25日(享年80)

廣瀬健様(クラブ会長) 1月30日(享年63)

ワイズニュース

✓国際会長辞任

国際会長Samuel Chacko氏(インド)が任期半ばで辞任し、これを受けて、国際憲法の規定により次期国際会長のUlrik Lauridsen氏(デンマーク)が2023年1月17日付で国際会長に就任しました。その国際会長主題はLet Your Light Shine(輝かそう、あなたの光を)です。

今月の強調目標

TOF (Time of Fast)

タイム・オブ・ファスト(Time of Fast:断食の時)の略称で、「ティー・オー・エフ」と発音する。クラブ例会での食事を抜き、その金額相当分を国際協会に献金する。献金は、世界中のYMCA、ワイズメンズクラブから募集して国際協会が選定する、SDGsに関連する発展途上国を主たる対象とする地域支援プロジェクトに用いられる。国際協会、東日本区では2月を強調月間とし、クラブ例会だけでなく、2月に開催される、区、部の会合でも食事を抜いたり、簡素なものにしたりしてその分を献金するよう努めている。

FF (Family Fast)

TOFを家庭内や、知人、友人に呼びかけて行う献金。東日本区ではHIV/AIDS啓発活動の資金に用いられている。

HTW (Heal the World=ヒールザワールド)

国際協会が2020-21年度に開始した統一国際プロジェクトで、新型コロナウイルス後の世界を癒すために、より強い国際的な関与と組織的な連携、連帯を構築して我々のボランティアの力をより発揮することを目的としている。主な活動内容は、災害時等の救援物資の提供/ボランティア支援、医療/健康プログラム、専門家のネットワーク構築など。プロジェクトの資金を賄うために、TOF献金の増額が望まれている。(2022-2023東日本区ハンドブック・ワイズ用語より)

行事予定

✓2月4日(土)・5日(日)

- ・第3回東西日本区交流会
(ANAクラウンプラザホテル神戸・神戸YMCA)

✓2月11日(土)

- ・あずさ部第2回厄除け評議会
(ホテル談露館・ホスト甲府クラブ)

✓2月15日(水)

- ・後期東日本区費納期

✓3月1日(水)

- ・3月例会 (ホテル談露館)

✓3月4日(土)・5日(日)

- ・次期クラブ会長・部役員研修会

✓4月5日(水)

- ・4月例会 (ホテル談露館)